（第二種郵便物認可）　昭和十三年七月二十七日（水曜日）　臺灣日日新報　第一万三千七百七十六號　A　（一）

臺灣昌新報夕刊
七月二十六日
夕刊定價一部二錢
編輯兼發行人　佐々木
臺北市幸町二丁目廿二番地
發行所　臺灣日日新報社
基隆市地獄谷電話七八番　基隆支局
臺中市綠川町電話四〇番　臺中支局
臺南市新町電話一〇〇番　臺南支局
花蓮港街　花蓮港支局
大阪市西區阿波座上通一ノ十　大阪支局
東京市芝區櫻田本郷町四　東京支局

我が佐藤、高橋部隊 九江を完全占領

二十六日早朝一氣に

【〇〇二十六日發同盟至急報】高橋、佐藤の各部隊は所在の敵を擊破しつゝ九江を目差して猛進を續け夜陰に乘じて九江前面の各陣地に突入し難なくこれを奪取して徹宵攻擊を續行、潰走する敵を追つて二十六日早朝一氣に大東門に殺到城壁に據つて頑强に抵抗する敵を蹴散らし九江城内に雪崩れ込み城門高く日章旗を翻へし直ちに市内の殘敵掃蕩に着手した、漢口防備の重要據點たる九江は玆に完全に我が手中に歸した

枇杷亭址に敵前上陸

海軍陸戰隊が決行

【〇〇二十五日發同盟】陸軍部隊の東方からの九江進擊に呼應して海軍陸戰隊は二十五日午後六時半頃九江前面江上に現はれ、湖口部隊、○○隊の攻擊開始の下に九江西方一哩たらずの前面江岸枇杷亭址に敵前上陸を決行、九江の敵を背後より制壓しつつある

中武大尉一番乘り

【九江二十六日發同盟至急報】我が海軍長江艦隊は二十五日午後零時半江上に現はれた艦隊旗を翻へして強行突破して九江港口深く突入で陸戰隊上陸部隊中武輝雄大尉は日清汽船ハルク一隻に續いて一番乘りの殊勳を樹立した

漢口防禦線の中樞掌握

チェッコ問題解決に英國首相乘出す

調停役にラ卿を派遣

【ロンドン二十五日發同盟】チェンバレン首相は二十六日午前の英國下院においてチェッコ敗民族問題に關する重大聲明を行うことゝなつたズーデテン問題に對して英國政府の調停乘出し說が有力にチェッコ問題解決の爲に乘出す決意を固めチェッコ政府とズーデテン當事との間に立つてか敗民族問題の圓滿解決を期待する事となつた

【ロンドン二十五日發同盟】チェンバレン首相は愈々積極的にチェッコ問題解決の爲に乘出す決意を固めたもので二十六日午前の英國下院において重大聲明を行うことゝなつたズーデテン當事との間に立つてか敗民族問題の圓滿解決を期待する事となつた

【ロンドン二十五日發同盟】英國政府の調停乘出し說が有力にチェッコ問題解決の爲に乘出す決意を固めたもので二十六日午前の英國下院において重大聲明を行うことゝなつたズーデテン當事との間に立つてか敗民族問題の圓滿解決を期待する事となつた

【ロンドン二十五日發同盟】チェンバレン首相は愈々積極的

酷熱中にも 平和はみなぎり 樂土のごとき慶門

二從軍畫家が現地から便り

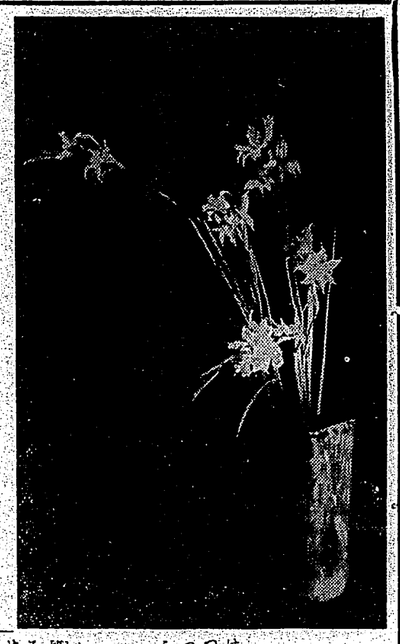
【東京二十五日發同盟】皇軍の慶門占領後僅かも二ヶ月半、今は平和の樂土と化した南支のこの要港に在る二人の従軍畫家から壯丁勇躍の便りが届けられた、飛驒は大鵬場方町須藤龍二、薩摩は川内市高城町二見久の兩氏

第一信　南支慶門の酷暑は過ぎに酒體から絞り出される汗が惜しげなくさらな襦袢を浴びて様相に起つた小便器の様相には頭痛高らかに鳴り響く音の下に豚生した此處二十三万の生活慾ざる客觀業務からの衰えつた

第二信　慶門の酒井街の我しい不潔さと打つて變つて各國共同

第三信　（前略）海上部隊の慶門正に立體的戰闘の様相であつた、其が岸上つてある設備には指揮係の間に緊張な注意が生じ華上慶門の酒井街の我しい風景ある島の中央に華立つ日章旗に吾つて歡望すれば遥かに宮城遥拜の宮城を思ひ浮べる程の感激に打たれる、現在的下最も主力を注いで居るのはコレラ豫防施設で疑似患者の發生は勿論豫防注射を徹底せしめる爲め軍醫團の下に驅命的の努力を拂つて居る從つて戰地在住の支那民衆に強制的豫防注射の結果非常な抵抗を受けて居るが、我が軍當局も支那軍隊地に於て其内コレラ豫防に就て最大の努力を拂つて居るやうに見受けられた

第四信　慶門を目に眺めた將兵團が今日の如き近代の戰闘に於ては、一兵卒に至る迄の軍事的知識を必要とすることを痛感した事實である、この意味に於て各部隊に於ては、各種の教育を實施して居るが、殊に慶門の如き特殊地帯に於ては、一兵卒と雖も、地形の觀察、敵情の判斷、射撃の要領、交通連絡の方法等に關して、相當の知識を有する事が必要である、この爲め



物を粗末にさせぬ 子供の導き方

親が率先して模範を示せ

醫學博士　三田谷　啓

どんなものでも粗末に出來ない戰時生活にあつては、幼い子供にも、物の大事なこと、粗末にしてならぬことを敎へなくてはなりません、多くの子供の中には物を粗末にすることを恥辱である子供もありますが、かかる子供をどういふ風に導いたらよいか、以下醫學博士三田谷啓氏のお話

子供が玩具や品物を粗末にするのは、先づ第一に、親が物を粗末にさせまいとするに、何よりも先づ物の貴さ、値打ちをよく敎へ込むことが一番肝腎なことです。殊に今日のやうな生活時代では、無駄の排除をもつて子供に話してやるのが、非常に效果があります。

○

例へば、飯粒大豌の時には、おかずの殘つた御飯でさへ、食料には非常に困りました。島國の爲めに食料を外國から買はなければならぬのだが、海上は常に潛水艦の爲めに脅威されて、思ふやうに食料が入つて來なかつたのです。そこで英國民は、最後には公園の芝生を掘り返してその根を食べたといふ程困りました。

又獨逸の方でも、木の根、草の根、さらに藁までも食料に代用したといふ程困つたのがこれです

せんが、無駄をしたり、勿體ない食べ方をすることは非常にいけないことだといふ風に話してきかせます。又品物に對しても、製造關係の金屬製の玩具は、これから買へないので大事にすること、新しく買つては粗末にすることとをやさしく敎へねばなりません。

○

そして、口でいかに、話しても子供には感じない場合もありますから、更に親が率先して物を大切にする實例を示すことが何よりも必要です。例へば貰物をした包紙などにしても、きちんと疊をのばしてしまつておけば何かのときに役に立ちますし、お醫者の反古紙などでも、いろ〳〵な紙細にしておき子供にもそれを手傳はせて上手に整理させるやうにすると、自然物を大切にする觀念がついて來ますし、廢物の破れバケツや鉄製鉛筆箱などを集めて、これが再製品になることを敎へるやうにします。

それで、さういふ觀念を子供に與へる目的から口には出さず言葉に實行して模範を示すことが、何よりもよい導き方です。

○

子供には入浴が大切です。特に夏は汗をかくので毎日入浴をさせることですが入浴を嫌ふ子供がまゝあります。さういふ子供は、先づ其の原因を調べます。風呂場でこゝろんで頭を打つたとか、或は無闇に熱い湯に入れたとか、お湯の中へ沈没させたとかいふ動機が多いのです。だから其の原因を取り去るとよろしいのです。特に夏は汗をかくので毎日入浴をさせることですが入浴を嫌ふ子供がまゝあります。さういふ子供は、先づ其の原因を調べます。風呂場でこゝろんで頭を打つたとか、或は無闇に熱い湯に入れたとか、お湯の中へ沈没させたとかいふ動機が多いのです。だから其の原因を取り去るとよろしいのです。

夏さかり

グラジオラスに 誘はれる涼味

(この)花の生れ故郷は南阿、かつて阿アフリカにかけて澤山あると植物學者はいつてゐます、元來喬尾科（いはゆるつま）に屬するやうに（この）の變化があります

◇

(葉は)劍のやうにのび上り花を導いて一メートルに及ぶ、そして上の方に、莟の間をおかせるやうな花穗をつくるのも、この花のおもしろい處です

◇

(花の)色は一段には白や淡紅色が多く見受けられますが、このほかに鮮紅、黄、赤などいろ〳〵あり、今見頃なのは夏咲き大輪と稱する部に屬するものです

◇

(ここ)にはグラジオラスの興味深い活け方の一例を御紹介いたしませう、方瓶のグラスに夏のアルプスを想はせ、グラジオラスの白に雪の感じを現はして、卓上に興味を誘つたのがこれです

不思議な數字

コドモの遊び

數字で簡單な面白い遊びをやつてみませう、先づ0から9までの數を取つて、その順番でそれをあべこべにしたものを數の數からその數を反對に置いたものを引きます、さうして出た數とその數をあべこべにしたものから引きます、この數にまたその數を反對に置いたものを加へます、その數からその數を反對にしたものを引きますと何も殘らなくなります、先づ次のやり方をよくみてやつて御覽なさい

1234567890
0987654321
―
2469135369
9753109642
＋
12122332211
11223322121
＋
23355555332
23335555332
―
0000000000

季節の漬物四種

お香のものが、食慾不振になり勝ちな夏になくてはならぬものですが、いつも同じ漬物では飽きがきますので、季節ものを使つて目先の變つたものを作つてみました。

△

胡瓜の粕漬　小型の胡瓜をそのままならした粕に漬込み重石をして水が出たら捨て去り、二、三日間の後取出して刻の粕に漬け換へ、四、五日過の後味淋を加へた粕に漬けておきます。

胡瓜の茎子漬　胡瓜は細い若いものを選びます、この材料一日に四、五合位で軽く醤油漬として水が上つたら取り出し刻み、醤油の部分を切り適當の大きさに切つて、茎子一升、醤油一合、味淋七合、五勺の割合でよく揉つたものに漬込み一ヶ月位から食膳に供します。

細根大根淺漬　細根の大根をよく洗つて塩を一寸位付けて二つに割り、それを薄く半日に切り醤油に漬して少し、若い葉みじん切にして水を切り、味淋五勺を煮沸して醤味噌の汁を搾つて少し味付に加へこれを前に水を切つておいた大根に注ぎかけ、暫らくして味が浸み込んだ頃取出し惜つて食膳に供します。

吾妻漬　大根は皮を去つて小口切とし、これに醤油をふり少し經みた頃でよく揉み水洗ひして水に上げ、生姜を薄く輪切にして種子をのぞき大根を合せて醤油少々をかけ軽く押して後漬けます。

淋疾治療の要點

淋菌の本性

淋菌には自然の抵抗力があるが淋病にはこれがない。就中婦人なるの本性である。

慢性再發の起る理由

淋菌が感染の初期のみに治療してゐるから治癒も頗る困難である。不幸にして慢性にとつては致命的には、八種の經路をもつてゐる。一度それらの經路に浸入すれば治癒は至難六ケ敷くなる。慢性患者の多い理由が之れである。

だから八種の經路を自由自在に走る淋菌なるが爲めに全くなくてはならぬ理由が明白である。

殺菌手段の重要性

然し淋菌性のある淋病でもその使用法で死にも生きもする。自分を薬るのに醫師から十のことに薬ると、必ず十癒が出來で迅速よく薬まらない。醫師三の藥さに下薬めして然る後に七の藥さに薬ると迅速、確なくよく薬上げられる淋菌の殺菌法もこの手が一番効果があるのは淋菌の病理を知れば よくわかる。

多數の使用藥は厳禁

淋菌は自己抵抗が出來ないが藥品を薬べる度に藥品に慣れて行くので驚かされ易い。故に多種を使用する淋菌や混合淋菌の時め淋菌を一度に注込んで醫師藥劇を使用する事が能力のある醫師藥劇を使用する事が能力のある醫師藥劇を使用する事が能力のある

江戸桃花陣 (96)

海音寺潮五郎作
富永謙太郎畫

百鬼夜行 (五)

しけるので、大次郎に次を入れて醒覚の薬中に置き、それからすっと離れた床の間を背に、醒覚に見つめて、五左衛門は座敷として座にふりそそぐ雨の線を眺めてる。深夜ばらひのためにた、雲煙が、床の間の雲煙から立ちつて、ゆるやかにめぐつては、醒覚の眼前を流れる。

かうして見たところひどく落ちついた、自足した姿であるが、醒覚の心はかなりにいらく〳〵してゐる。時々、醒覚覚に、醒覚を呼びしめるやうにするのは、その醒覚がさせるのであらう。

醒覚醒といふものがある。醒心醒とは醒覚醒だといふ心に思ふことがあれば、人は無意識のうちに必らずそれを口にするものだ。だから、人の醒覚の動きを観むことに依つを観るほど、心の中をも知ることが出来るといはれてゐる。もし、その醒覚を以て、今の醒覚の「皆」の動きを観んだとしたら、きつと、かうつぶやいてゐることに気づいたであらう。

「行かうか、行くまいか」

と。

番目家に行かうか、行くまいかといふのである。

昨日のやうにかうなのだ。近頃毎日のやうに、醒覚はそれを繰り返んでゐる。

兄妹の足がぱつたりと遠のいたのである。あの醒覚の醒覚員薬師石よ来なくなつたが、それから間もなく醒覚も来なくなつた。それまでは、御石一人が来なくなつたことはあるが、醒覚まで来なくなつたことはない。

（御石が一切を醒覚にぶちまけてしまつたのではないか）

さう疑はれるのである。

この不安があるだけに、うつかりとは行けない。

生一本な醒覚だけの御石と違つて、すぱ抜けて頭脳のよい醒覚だ。

一日民ッぽを抑へられたとなると、醒覚の進歩を易らせるばかりであらう——と思ふのである。

「花の醒覚する、時あり——今度もまた急きすぎたかな」

手ら醒覚するやうに醒覚つて、これは口に出してつぶやいたが、今御相談申したいことがある故、すぐ来ていただきたい、本来ならばこちらから参上してお願ひ申さればならないことだが、事情あつて当分外出が出来ぬ身となつてゐるから、失礼ながら御足労を願ふ——と書いてあつた。

（どういふ用件か。そして、外出の出来ぬ身とは何であらう——がまあよい、これであのために足遠になつたのでないことがわかつた

御石が一切を醒覚にぶちまけてしまつたことはないと、五左衛門は安心した。

（御石が来なくなつたのは、醒覚が来なくなつたからだ）

五左衛門は、御石一人が来なくなつたことは、醒覚まで来なくなつたことだと思つた。

（御石が一切を醒覚にぶちまけてしまつたのではないか）

と思つたのは、醒覚が来なくなつたからだと思つたのは、醒覚が来なくなつたからだと思つたのは、醒覚が来なくなつたからだと

臺灣日日新報
本日夕刊共十二頁
臺北市表町二丁目四番地
臺灣日日新報社
臺北一二二六番
臺灣日日新報社臺北支局
臺北市表町二丁目四番地
臺灣日日新報社臺中支局
臺中市錦町一丁目
臺灣日日新報社臺南支局
臺南市末廣町一丁目
臺灣日日新報社高雄出張所
高雄市新濱町
臺灣日日新報社花蓮港出張所
花蓮港街
臺灣日日新報社澎湖出張所
馬公街
臺灣日日新報社基隆出張所
基隆市仁愛路
臺灣日日新報社新竹出張所
新竹市
臺灣日日新報社嘉義出張所
嘉義市
臺灣日日新報社屏東出張所
屏東市
臺灣日日新報社宜蘭出張所
宜蘭市
臺灣日日新報社豐原出張所
豐原街
臺灣日日新報社東港出張所
東港街
臺灣日日新報社恒春出張所
恒春街
臺灣日日新報社竹山出張所
竹山街
臺灣日日新報社埔里出張所
埔里社
臺灣日日新報社大溪出張所
大溪街
臺灣日日新報社羅東出張所
羅東街
臺灣日日新報社瑞芳出張所
瑞芳街
臺灣日日新報社鹿港出張所
鹿港街
臺灣日日新報社北斗出張所
北斗街
臺灣日日新報社斗六出張所
斗六街
臺灣日日新報社虎尾出張所
虎尾街
臺灣日日新報社北港出張所
北港街
臺灣日日新報社嘉義出張所
嘉義市
臺灣日日新報社新營出張所
新營街
臺灣日日新報社佐倉出張所
佐倉街
臺灣日日新報社臺南出張所
臺南市
臺灣日日新報社高雄出張所
高雄市
臺灣日日新報社屏東出張所
屏東市

財界ピックアップ

爲替基金設定
その意義と效用
輸出業者の使命は重大

今回日本銀行に設置する外国為替基金勘定は、いろ〳〵重大なる意義を持つて居る、先づ大藏省の設置説明によると、外国為替決済勘定の設置は(イ)日銀はその保有する正貨準備のうち二億円を限度として外国為替基金勘定を設置し(ロ)右基金は主として輸出商品の原料輸入を円滑ならしむるを以て目的とす(ハ)基金に繰入した正貨は必要に應じこれを外貨に換へて保有する外貨資金は正金銀行及び他の為替銀行をして輸出商品の原料輸入の爲に利用せしめ、而して各銀行はその利用した資金を各月の輸出為替代り金中より一定期間内に本基金に繰戻さする(ホ)從つて本基金は原則として為替的に輸出商品の原料輸入のために活用せられるのである

× × ×

要するに輸出増進の「呼び水」として国際収支の大改善に役立つてゐる正貨準備の一部を割いて輸出業者の使命は重大だ、これを如何に活用するかは輸出業者の自覚と努力如何にかかつてゐる、政府の方でも為替基金の使用方法については出来るだけ簡便な方法を講じ、輸出為替代り金の一部は原則として輸出業者の自由に使用せしめる方針だといふから、輸出業者は出来るだけ為替基金の活用を図つて輸出の増進に努めねばならない

× × ×

問題は為替の回収期間如何にある、しかしこれとても今日の様に輸出為替の回収が極めて敏速に行はれてゐる時には一定期間内に本基金に繰戻さするといふ制限も大して苦にならないであらう、寧ろ為替基金の活用を図つて輸出の増進に努めるべきだと思ふ

來期の產糖は
二千五十萬擔の豫想
前期より四百四十萬擔を增
暴風無くば一千二百萬以上

各製糖會社の昭和十二、四年期原料の第一回調査は漸く終了その結果は近く正式に糖務局より發表せられる筈であるが關係者の談によると來期産糖は二千五十萬擔内外と豫想されてゐる、前期より四百四十萬擔の増加である

右は植付面積に於て前期に比し約三万二千甲を增加せるのみならず植付後期間順調にして氣温も略平年並に推移し殊に本年四月に於て相當雨量ありしと氣溫高かりし關係上甘蔗の生育を助長し第一回調査當時に於ける生長歩合は前年同期に比し著しく優つてゐるから、甚だしき不作とならざる限り前期に比し數分多つてゐるが現在に於ける豫想である

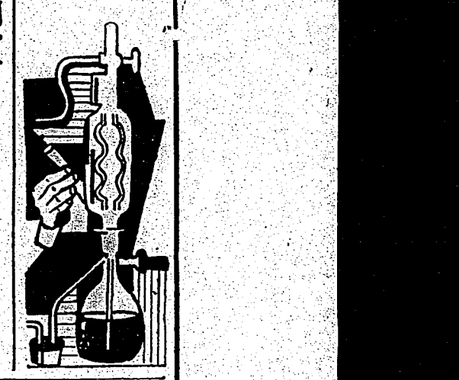
土木、鐵工に對する
鐵鋼配給割當
一二十六日官、民需共通告さる

鉄鋼統制規則に基き鋼材配給割當に關しては從來より鉄鋼統制會社を主体中であつた鉄鋼統制懇談會に於て土木建築に關する分につき決定を見るに至つたので二十六日官、民需共夫々商談の上申込書に一括、

毎日二合の酒飲めば 精神生活は荒廃する

精神と肉體との關係（二）

醫學博士 米山達雄



次に酒精中毒ありますが、日本酒二合以上を毎日習慣的に飲む人を酒客と申します。この酒客は慢性酒精中毒になる可能性がある訳で、中毒に陥りますと、先づ道徳心が鈍麻し、家族の心配や迷惑などは一向かまはず、夜遊そくまで飲み歩き、このため酒代すれば家具を質に入れて飲む、暫が續くやうになつて、一寸したことで怒り手荒に乱暴をする。そして際に無生産的になり、一種精神病にして下等な本能生活に陥ると、再び健康な精神生活を營むことは困難となるのであります。

かゝる慢性酒精中毒にかゝつたものは、固より酒をも中毒性精神病を起すことが少くありません。近來益々多くなりました麻藥中毒も、酒精中毒と同じく精神生活の荒廢を來たします。

◇

腦の物質變化には、病氣によることもあり、酒や麻藥や精神病等の病氣によつて來ることもありますが、血液が濁くなり、このため頭腦、脊髓、肝臟等が犯り易くなります。かゝる人は腦溢血を起し易いのであります。

殊に慢性にかゝりますと、精神病に移行する場合が多くなります。

◇

精神の肉體に及ぼす影響

次に精神の肉體に及ぼす影響についてありますが、患者の中で酒精性原因が最も多く、腦の變質がおくれて痴呆になることもあります。

腦の精神に及ぼす影響については、この位で打ち切らうと思ひますが、以上の結論として「健康なる精神は健康なる身體に宿る」といふ古諺は、不滅の眞理として認められねばなりません。

精神の肉體に及ぼす影響

次に精神の肉體に及ぼす影響ですが、患者の中で酒精性原因が最も多く、腦の變質がおくれて痴呆になることもあります。又幼少の時腦炎にかゝりますと、腦の發育がおくれて痴呆になることもあります。

腦の物質變化には、病氣によることもあり、酒や麻藥や精神病等の病氣によつて來ることもありますが、血液が濁くなり、このため頭腦、脊髓、肝臟等が犯り易くなります。かゝる人は腦溢血を起し易いのであります。

殊に慢性にかゝりますと、精神病に移行する場合が多くなります。

◇